CASBEE 大阪 みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築）　I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要

建物名称	プレジオ桃谷新築マンション計画
建設地	生野区勝山北4丁目
建物用途	共同住宅
建築主	
設計者	
竣工年	2028年2月　予定
構造/階数	RC造　/　15
敷地面積	1218.89 ㎡
建築面積	253.81 ㎡
延床面積	3196.37 ㎡

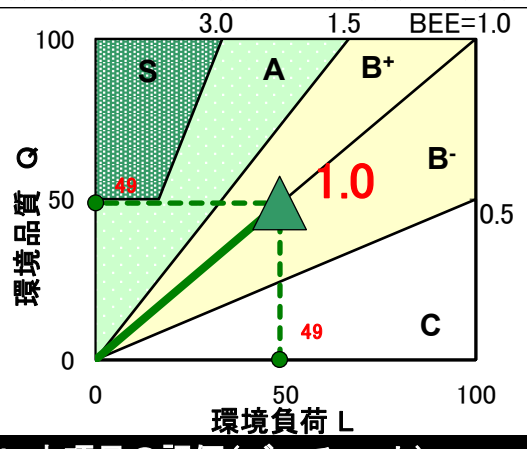
1-2 外観

2-1 建築物の環境効率（BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ）

B+

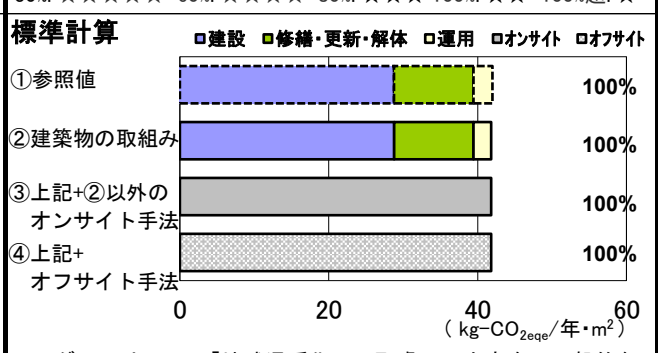
BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



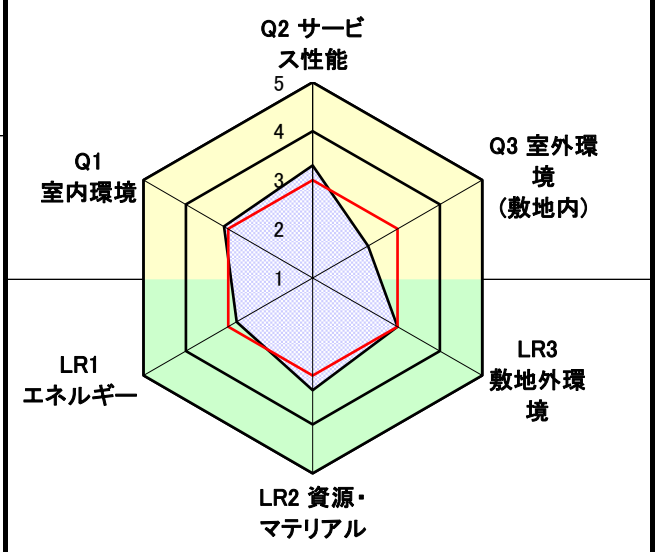
2-2 ホールライフカーボン（温暖化影響ﾁｬｰﾄ）

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

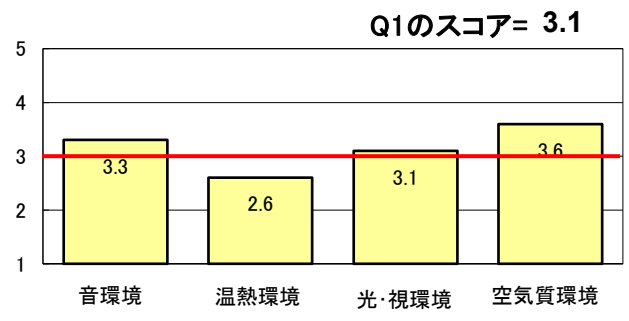
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



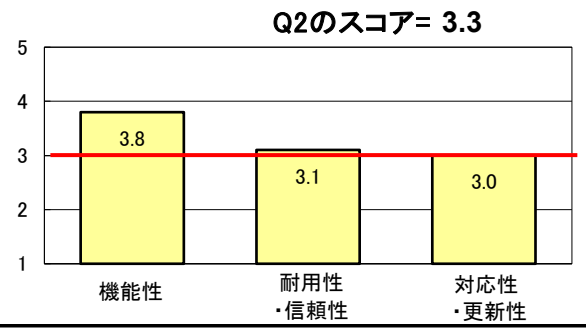
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.9

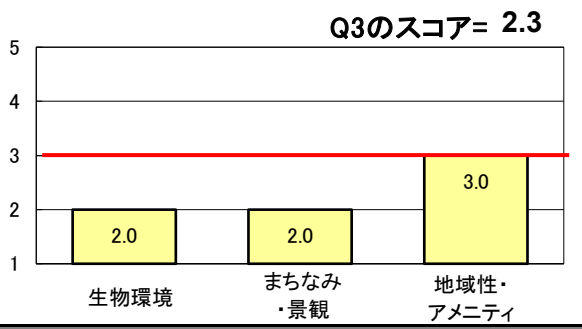
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.1



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.3

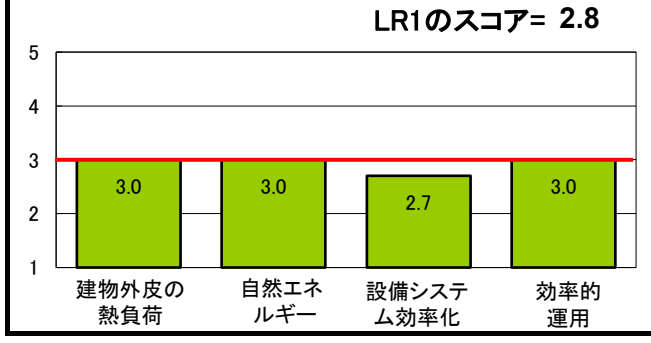


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.3

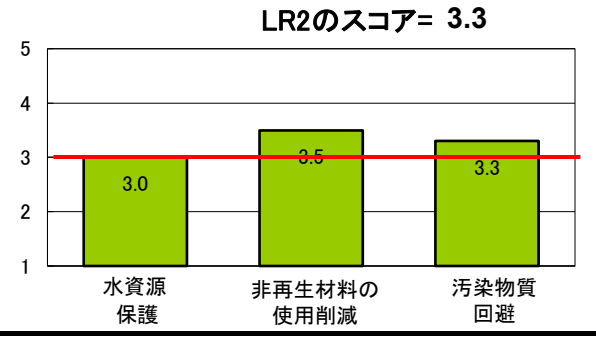


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

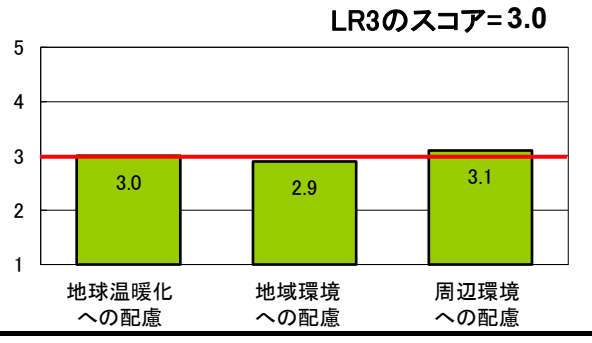
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 2.8



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.3



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.0



3 設計上の配慮事項

総合	その他
自然換気が可能な開口部を各住戸に設置し、建物利用者の快適な生活環境を維持するための開口部の遮音性能を高め、室内の安全性の面からＦ☆☆☆☆の内装材を採用した	特になし

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
開口部の遮音性を高め、自然換気が可能な開口部を各住戸に設置した	十分な耐用年数の配管の使用等により、建物の耐用性に配慮している	自生種に配慮した緑地づくりを行った

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特になし	リサイクル資材、ノンフロン断熱材を採用した	特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン（WLC）」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示　結果〔重点評価〕

総合評価BEE　=　1.0

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		3.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 /　/	地球温暖化への配慮	3.0	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 /　/	生物環境の保全と創出	2.0	
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0	
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		3.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 /　/	建物の熱負荷抑制	3.0	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		3.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 /　/	設備システムの高効率化	2.7	
配慮事項			

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

	住宅部分（品確法等級）		非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能	等級4	（相当）	-

	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
一次エネルギー消費量	0.93	-